

「2人のピヨちゃんがどろあそびしよる！」

廣重 陽哉（ひろしげ はるや） 4歳

玖珂保育園
（山口教区）

●表紙のことば●



太い筆に絵の具をたっぷりつけて伸びやかな線で描かれたピヨちゃんは、生き生きとしていて、まるで今にも画面から飛び出してきそうです。くちばしのオレンジ色がとても印象的だったのでしよう。初めて絵の具を使って描いたそうです。先生が「何をしているところ？」と聞くと「えつとね、ピヨちゃん、どろあそびしよるんよ！」と嬉しそうに教えてくれたそうです。はるや君はきつと創造の世界の中で、ピヨちゃんたちと楽しくどろあそびをしているのでしようね。

「ピヨピヨちゃん」はクラスのテーマだそうで、こどもたちには、日頃から馴染みがあり、イメージしやすかったようです。はるや君も「ここ何色だったっけ」などとつぶやきながら楽しそうに描いていったそうです。まだ使い慣れない絵の具で数色出したことから、色がにじんでしまったりしないようにと、水の配分に注意して濃いめに溶いたことが功を奏しています。

おお はし いさお
大橋 功

岡山大学大学院
教育学研究科